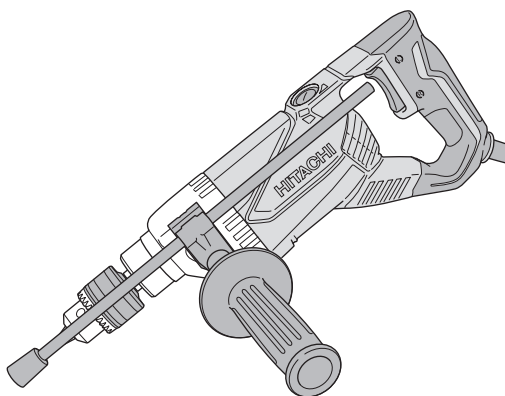
Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

用途
●木材の 65 ㎜までの座掘り
●木材の穴あけ
●金属の穴あけ

二重絶縁

日立 座掘りドリル
DW 65YA

このたびは日立座掘りドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

はじめに

使い方

その他

HITACHI

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。

- 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⚠警告

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
- 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⚠警告

⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

二重絶縁について

電気の流れる所と外観部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に 回 マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機電動工具センターに依頼してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、座掘りドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
- 表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。

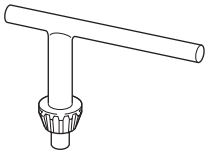
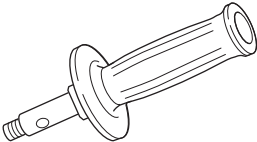
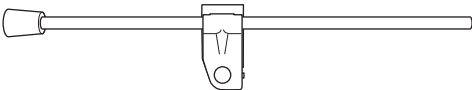
② 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
- 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

③ 使用中は、振り回されないようにサイドハンドルを付け、機体を両手で確実に保持してください。
- 確実に保持していないと、けがの原因になります。

④ 使用中は、工具類に手や顔などを近づけないでください。
- けがの原因になります。

⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、ドリルや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑦ シリカや石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

⚠ 注意

①　**ドリルや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。**
- 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

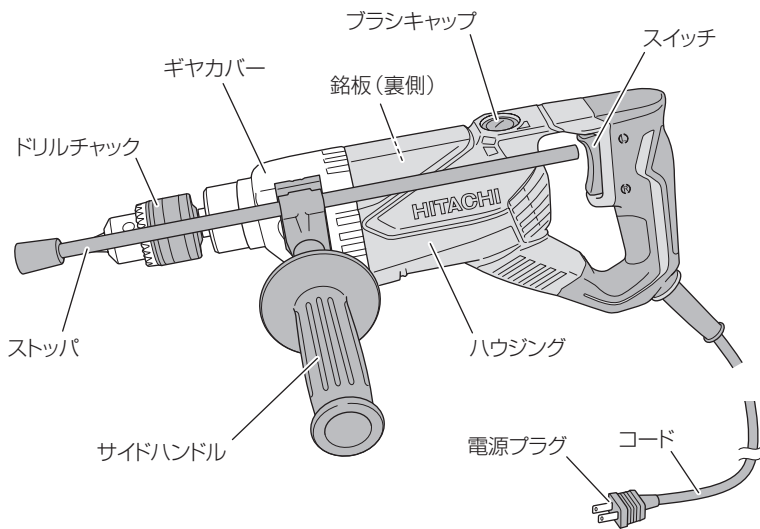
②　**使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
- 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

③　**穴あけ直後のドリルや切りくずは高温になっているので、触れないでください。**
- やけどの原因になります。

④　**高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っ掛けたりしないでください。**
- 材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。

⑤　**運転させたまま、台や床などに放置しないでください。**
- けがの原因になります。

⑥　**ねじやボルトなどの締付けや緩め作業には使用しないでください。**
- 製品の損傷を生じるだけでなく、けがの原因になります。

各部の名称

標準付属品

品　　名	個　　数
チャックハンドル	1 個
サイドハンドル	1 個
ストッパ組	1 個

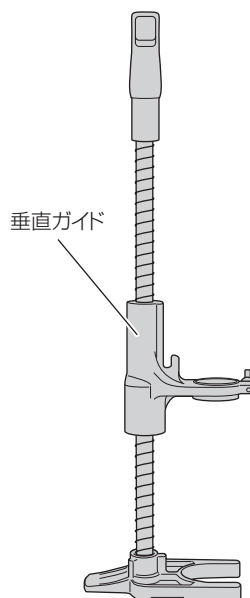
仕　様

形　　　名	DW65YA
使 用 電 源	単相交流 50／60 Hz 共用　電圧 100 V
穴あけ能力	座　掘　り　直径65 ㎜ 木　　　材　直径36 ㎜ 金　　　属　直径13 ㎜
ドリルチャック	把握径 1.5 ～ 13 ㎜
無負荷回転数	1200 min^{-1} ｛回／分｝
全負荷電流	9.0 A
消 費 電 力	860 W
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
質　　　量	2.9 kg（コード除く）
コ　ー　ド	2 心キャブタイヤコード5.0 m

別売部品

垂直ガイド

垂直ガイドのサポートで、垂直穴あけが簡単

最大ストローク　：290 ㎜
最大ドリル長さ　：330 ㎜
最大穴径（木工）：　36 ㎜

ご使用前の準備と点検

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ（mm^2）	最大の長さ（m）
1.25	15
2	25
3.5	45

●使用電源の確認

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。
また、直流電源で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

●コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。
お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

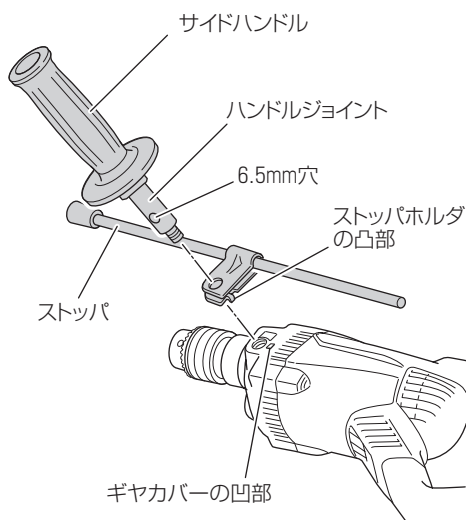
サイドハンドルとストッパの取付け方

⚠ 警告

- **サイドハンドルを十分に締付けてください。**
  締付けがゆるいと作業時の反力を受けきれず、けがの原因になります。
- **サイドハンドルは、ハンドルジョイントとセットで取付けてください。**
  作業時の反力を受けきれず、けがの原因になります。

1 ストッパホルダの凸部とギヤカバーの凹部を合わせ、サイドハンドルをストッパホルダの穴に通してギヤカバーのねじ穴にねじ込みます。

2 ストッパを任意の位置に設定し、サイドハンドルを締付け固定します。

3 ハンドルジョイントの6.5㎜穴にドライバーなどをさし込み、しっかりと締付け固定します。

スリップクラッチ機構について

作業中の機体に急激に大きな負荷がかかった(注1)とき、モーターと先端工具の間の伝達部をスリップさせて、直接大きな反力(注2)がかかることを防止します。

（注１）：穴あけ中に、釘などの異物に先端工具が当たり、回転を急に停止させる力

（注２）：先端工具が急に停止することによる反動で、機体が回ろうとして、持っている手がねじられる力

注 **スリップクラッチが作動し、先端工具の回転が停止した場合には、すみやかにスイッチを切ってください。また、スリップクラッチを頻繁に作動させるような使い方をしないでください。**
故障の原因になります。

ドリルの取付け・取りはずし

⚠ 警告

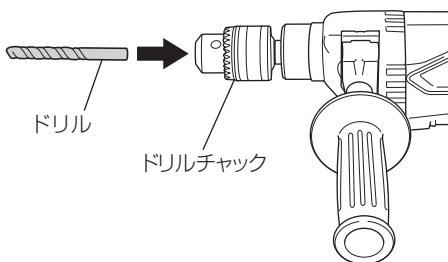
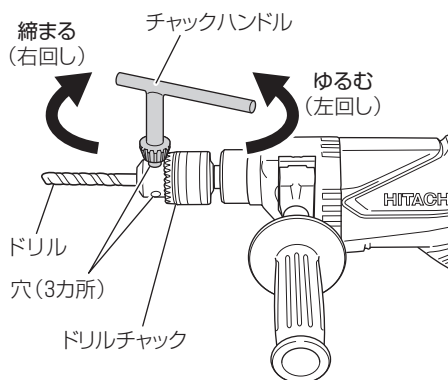
ドリルの取付け、取りはずしの際は、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

取付け、取りはずしの際は、ドリルで手を傷つけないよう十分注意してください。

ドリルは別売です。穴あけの用途に合ったドリルを選んでください。

○ 木材の座掘り‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥座掘りカッタ
○ 木材の穴あけ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥木工ドリル
○ 金属の穴あけ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥鉄工ドリル

1 ドリルチャック先端の穴に、ドリルを奥までさし込みます。

2 ドリルチャック外周の 3 ヵ所の穴にチャックハンドルを順々に入れて矢印の「締まる」方向に回し、ドリルを軽く締付けていきます。
最後に 3 ヵ所とも均等の力でしっかりと締付け、ドリルを確実に固定してください。

3 ドリルを取りはずすときは、矢印の「ゆるむ」方向にチャックハンドルを回します。

使い方

穴をあける

●木材の座掘り･穴あけ
●金属の穴あけ

⚠警告

- ドリルの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用中、振り回されないように、機体をしっかり握って作業してください。

1 ドリルを取付ける

（P10「ドリルの取付け･取りはずし」参照）

2 スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。

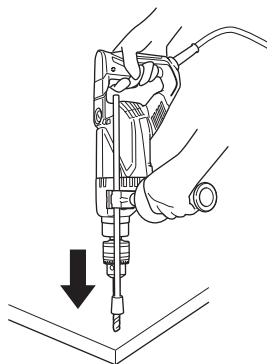
スイッチは引くと入り、はなすと切れます。

（P 12「スイッチの操作と回転方向の切替え方」参照）

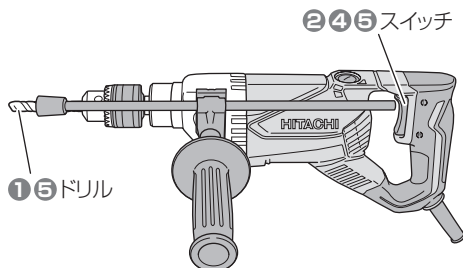
3 電源プラグをコンセントにさし込む

4 スイッチを入れる

ドリルの先を穴あけ位置に当て、スイッチを引き、まっすぐに押し付けます。

ハンドルを両手でしっかり持って、スイッチの（R）側を引いてください。

5 材料からドリルを抜く

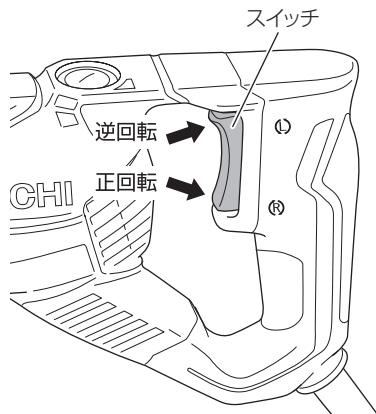
スイッチを入れたまま（回転したまま）、ドリルを引き抜いてください。

または、いったんスイッチを切り、スイッチの（L）表示側を引いてドリルを回転させながら引き抜いてください。

●スイッチの操作と回転方向の切替え方

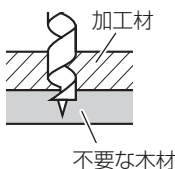
⚠注意

正逆転の切替えは、ドリルの回転が完全に止まっていることを確認してから行ってください。
回転中に切替えると大きな反力が働き、けがの原因になります。

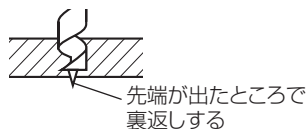
スイッチ下部の(R)表示側を引くと、ドリルはハンドル側から見て右に回り(正回転)、スイッチ上部の(L)表示側を引くと左に回ります(逆回転)。

穴あけは、(R)表示側を引いて正回転で作業します。

●木材にきれいな穴をあける

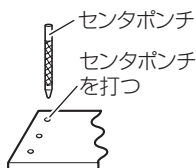
不用な木材を下に敷き、加工材と一緒にあける

木工ドリルが裏側へ突きぬけるときに発生するバリを防ぐことができます。

または

木工ドリルの先が少し裏側に出たときに、裏側から穴をあける

先端が出たところで
裏返しする

●金属へ上手に穴をあける

市販のセンタポンチを使用する

鉄工ドリルの先がすべらず、決まった位置に穴あけができます。

さらに

鉄工ドリルの先に機械油か石けん水を付ける
穴があけやすくなります。

注　**金属に穴をあける場合、穴の抜けぎわに大きな力がかかり、ドリルがドリルチャックからすべることがあります。このような場合は、工具本体の押し付け力を弱め、ドリルがすべらないようにしてください。**

保守・点検

⚠警告

点検・お手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●機体はきれいに

石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。
そのまま使用すると危険です。

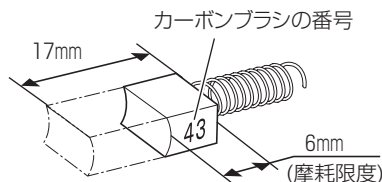
●製品や付属品の保管

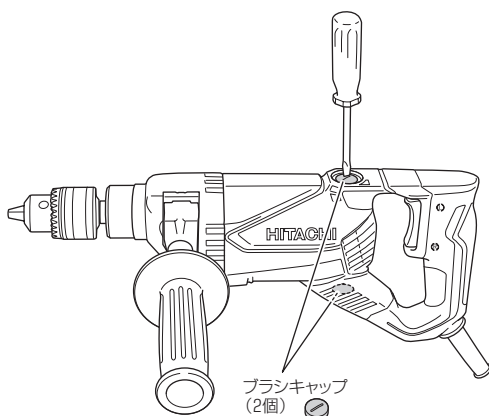
機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

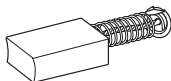
注
・お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
・軒先など雨がかかったり、湿気のある場所には保管しない。
・温度が急変する場所には保管しない。
・直射日光の当たる場所には保管しない。
・引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

●カーボンブラシの点検と交換

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（6㎜ぐらい）になりましたら新品と交換してください。
また、カーボンブラシは、ごみなどを取除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

注　新品のカーボンブラシと交換の際は必ず図示の番号（43）の日立カーボンブラシを使用してください。

1 古いカーボンブラシを取出す

マイナスドライバーなどでブラシキャップをはずして、古いカーボンブラシを取出します。

2 新しいカーボンブラシを取付ける

ブラシホルダの角穴に合わせてカーボンブラシを指で押し込みます。

3 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。
ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。また、部品ご入用の場合や取扱いでお困りの点などについても、ご遠慮なくお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

支店	TEL	住所
北海道支店	TEL (011) 896-1740 (代)	〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条1丁目2番20号
東北支店	TEL (022) 288-8676 (代)	〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
関東支店	TEL (03) 5733-0255 (代)	〒105-0011 港区芝公園1丁目8番12号
中部支店	TEL (052) 533-0231 (代)	〒451-0051 名古屋市西区則武新町1丁目32番16号
北陸支店	TEL (076) 263-4311 (代)	〒920-0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店	TEL (0798) 37-2665 (代)	〒663-8243 西宮市津門大箇町10番20号
中国支店	TEL (082) 504-8282 (代)	〒730-0826 広島市中区南吉島2丁目3番7号
四国支店	TEL (087) 863-6761 (代)	〒760-0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店	TEL (092) 621-5772 (代)	〒813-0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」　0120 - 208822（フリーダイヤル・無料）
※携帯電話からはご利用になれません。　（土・日・祝日を除く 午前9：00 ～ 午後5：00）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号（品川インターシティA棟）
営業本部　TEL（03）5783 - 0626（代）

308
部品コード　C99206903　F